

「未来高岡」ステップアップトーク（川原地区）会議記録 ＜要旨＞

- 1、日 時 平成 28 年 8 月 26 日（金） 午後 7 時 30 分から 8 時 30 分
- 2、場 所 川原公民館
- 3、出席者 市民 25 名（うち女性 2 名）
高岡市
市長、経営企画部政策監、広報統計課長

4、会議次第

- (1) 高岡市総合計画基本構想の紹介
- (2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・ 記者会見の時に女岩と立山の写真を背景に使って高岡をもっとアピールしてほしい。

市長

- ・ 富山湾は美しい湾クラブに加盟しており、女岩と立山の姿も国の名勝に指定され富山湾を代表する景色である。今年 6 月には、首都圏中心に J R の駅で同じ景色のポスターも掲示していただいた。今後、記者会見の際にも活用することを考えていきたい。

参加者

- ・ 小中学生からテキスタイル¹のデザインを募集し、5 月 5 日のこどもの日に、市内中心部で子どもを対象としたファッションショーをしてはどうか。

市長

- ・ 子どもの笑顔や元気な姿は地域の活力になり、ファッションショーは文化の発信という点で重要である。今後どのような方策があるか考えていきたい。

参加者

- ・ 鳳鳴橋にある鳳凰像の清掃をしてほしい。
- ・ 高岡駅のそばにある壊れた家屋が大変目立つことから、早く対応してほしい。

¹ 織物や布地のこと。

市長

- ・鳳凰像については、今後対応していきたい。
- ・指摘のあった家屋については、以前から所有者と話し合いをしており、今後も引き続き対応していく。

参加者

- ・新高岡駅の利用者には飛騨や能登に行ってもらうだけでなく、もっと高岡に滞在してもらう工夫が必要である。新高岡駅には高岡の土産物が少ないことから、バスが発着できるような道の駅を作り、高岡産の土産物を販売してほしい。

市長

- ・新幹線開業から 2 年目を迎え、宿泊施設や飲食場所が少ないという課題も見えてきた。来年の春には新高岡駅の南側にホテルが開業する予定であり、周辺には飲食店もできてきた。また新高岡駅の南側が市街化区域²になる予定であり、商業地域に指定されれば商業施設が進出しやすくなる。この機会に、交流機能のある施設も誘致していきたい。

参加者

- ・山町と金屋町をつなぐ道路が整備されたが、観光客は通過するだけで立ち寄ることがない。昭和通り沿いにトイレや休憩所を作れば観光客が立ち寄るのではないかな。

市長

- ・川原地区は、歴史的町並みをもつ山町と金屋町の間に位置し、1つのエリアとして捉えることができる。職人と観光客が交流できる工房の設置の構想もあり、非常に期待できるエリアである。トイレや休憩所については、利用者を周辺の店舗へ誘導できるような仕組みづくりも含めて考えていきたい。

参加者

- ・川原本町には旧町がいくつもあるので、町の由来を説明するような看板を設置したり、今も残っている恵比寿塔を利用してみてはどうか。

市長

- ・看板については、町の由来をわかりやすく伝えることが課題となる。

² 既に市街地を形成している区域及び概ね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。市街化調整区域は、市街化を抑制する区域。

参加者

- ・平成 29 年度を始期とする新しい総合計画基本構想を策定したとのことだが、これまでの総合計画の中で行ってきた成果を検証すべきではないか。

市長

- ・高岡市の人口については、平成 27 年度の転出入者の数が 19 年ぶりにプラスに転じ、転入者の方が多くなっており、現在その要因を分析しているところである。また、新幹線の開業効果についても、まちの活性化にどのように影響しているか検証したいと考えている。新しい総合計画については、基本構想とは別に策定している基本計画の中で様々な指標を設定しており、毎年検証していくこととなる。その成果についても分かりやすく市民の皆様に公開していきたい。